

リスクマネジメント

事業活動を行う上ではさまざまなリスクが存在します。問題は、そのリスクを予測し、いかに最小限に抑えることができるかということです。ムラタでは、あらゆる場面を想定し、柔軟に対応できる体制を整えています。

市場・需要の変動リスク

エレクトロニクス製品の市場は需要変動が激しく、ムラタの業績もこの影響を強く受けます。ムラタでは、中長期的な市場予測に基づき、「需要の増加に対応して生産設備と必要人員を迅速に手配し生産能力を拡充する」、「需要の変動に合わせて稼働日数を調整する」などの対策により、急激な需要変動に対応しています。

情報リスク

個人を識別しうる情報(以下「個人情報」)の保護は、企業に課せられた重要な責務であると考えています。ムラタでは、個人情報を適切に取り扱うため、2005年3月に「個人情報保護方針」を制定し、個人情報の取り扱いを「個人情報保護基本規定」に定めています。2005年4月に個人情報保護法が施行されたこととともない、取り扱いを周知徹底させるとともに、管理体制を強化していきます。

個人情報保護方針の項目

- 1.個人情報の適切な利用について
- 2.個人情報の第三者への非開示について
- 3.個人情報に関するお問合せへの対応について
- 4.個人情報の安全管理について
- 5.役員・従業員等への教育について
- 6.個人情報に関連する法令等の遵守について
- 7.個人情報保護の取り組みの継続的な改善について

自然災害リスク

防災体制

ムラタは、大規模な地震災害に備え、重要な製品について生産拠点を国内外に分散させるとともに、建物・生産設備の耐震性・安全性確保、防災資機材の設置、バックアップ電源の確保などの対策を講じています。また、防災委員会・自衛消防隊などの組織を設置し、火災事故も含めた災害防止対策の立案、日常の防火・防災活動の推進、有事に備えた消火・避難誘導の訓練などの活動を行っています。

防災訓練

災害が発生した際、従業員が適切な行動を取れるよう、地震や火災を想定した防災訓練を毎年定期的を実施しています。災害時の影響範囲が大きいと予想される工程は、通常の防災訓練とは別に有事対応マニュアルに従った行動を実践する特別防災訓練を実施しています。また、2005年2月には、本社と長岡・野洲・八日市の各事業所間で災害対策本部訓練を実施しました。これは、南海・東南海地震を想定して行われたもので、本社・事業所の経営トップおよび関係部門長が、被害状況の確認とその結果に応じた判断・指示を実演しました。



災害対策本部訓練



防災訓練

環境リスク

環境事故について、リスクの予測、未然防止、設備の構築、対応訓練に取り組んでいます。(詳細は29～30ページ)